

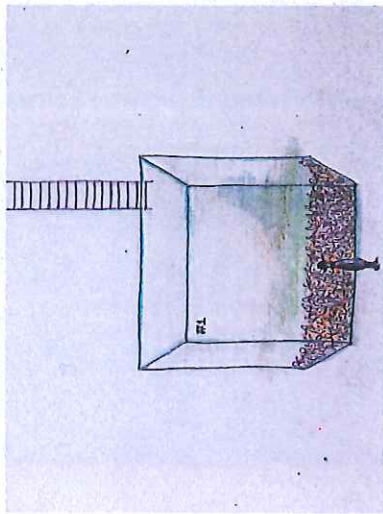
踊りに行くぜ!!!

Vol.5

ダンス・イン・レジデンス@城崎国際アートセンター：豊岡
札幌／松山／福岡／東京

#1 天使ソナタ

川口 智子 (東京)



1 x 1 x 1
演出家・川口智子 x ダンサー・辻田暁 x 音楽家・鈴木光介
0 x 0 x 0
不在のテキスト x 消える肉体 x 記憶の音楽
VIVA DEATH!!

ひとつめの悲劇が終わる、次の世代の悲劇の幕が上がる。
犠牲者は、死刑執行人の飯面を渡される。
その飯面の目の穴は、死の穴によく似ている。
天使は、復活の天使ではなく「飯面の証人」の顔をしている。
愛を希求していたはずの私の手が、殺人者の手に変わる。
遭された沈黙の鳥づかい
死を死ねなかつた子どもたちの踊り
ここではないどこかへとつながる音楽
三つの死が舞台へ集まり、そして消えていく

作・演出：川口智子
振付・出演：辻田暁
音楽：鈴木光介

川口 智子 / Tomoko KAWAGUCHI

1983年生まれ。演出家・サラ・ケイン「強い清められ」
「Cleansed」の連続上演「クレンジング」プロジェクト
(2010年-)を企画・演出。ソロ活動として、不定期
に「0と1のケイン祭」を開催。2013年より、
香港のドキュメンタリー映像作家・草野と協働して、
アジアの若手アーティストの交流企画「絶対飛行機」
/ Absolute Airplaneを開始。アジアにおける移動式
アート・スポットを自薦も、コンテンションボラリスト。



ダンス・イン・レジデンス@城崎国際アートセンター：豊岡
札幌／仙台／福岡／神戸／東京

To day

桑折 現 (京都)



人は受け取ったことを自分の経験や知識、記憶と運動して感じている。
一日の中にも捉えきれない程の多くの物語が起こっていて、
雑碎な情報は個人が受けとめた時から選別され
個別の情報として処理されていく。
人は優秀な情報処理能力を持っているが、
世界は人間のことだけで動いていないという事実をよく忘れる。

舞台芸術は人工物だらけで作為に満ちた世界だ。
けれど時が流れることは変わらず、
そこにある身体は(ある意味では)自然現象の賜物だ。
そしてなにより、作為と作為の隙間にふと現れる
雑碎な瞬間が存在する。

視覚と聴覚、忘却と記憶、出現と消滅、それらの境界を漂い、
各々が共存するような現象を作為的に自然的に立ち上げたいと思う。

作・演出・構成：桑折現
振付・出演：私尾憲美 / 今村蓮紀
声・歌・出演：山崎阿弥
音楽・演奏：中川裕貴
衣装：海川敦子

桑折 現 / Gen KORI

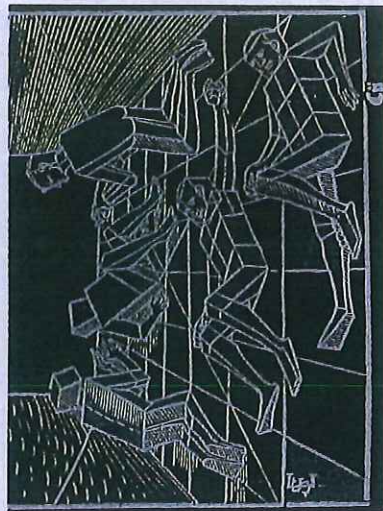
演出家、dots主宰。1979年生。京都造形芸術大学に
在学中にdotsを構成。
2001年、在学中にdotsを構成。
舞台芸術に含まれる様々な要素を重層的に駆使し、
独自の空間構成を構築して根源的な人間の存在を
見つめる作品を多数発表。近年はdotsの活動と並行して、
個人のアプローチでも活動している。



ダンス・イン・レジデンス@城崎国際アートセンター：豊岡
松山／仙台／神戸／東京

ナレノハテ

目黒 大路 (鳥取)



「体」は姿勢、動作、在り様のどれをとっても
社会的な影響を受ける。
能動的であれ受動的であれ、
私たちの体はある運命を体現している。
従事した体はもとより、抵抗の体もまた「体」として、
この「体」の枠を出ることはない。
果たして、与えられた条件としてある「体」に叛乱を見ること、
反ノ非であることが決定的に拒絶され
無力にさらされる体を前に、
逃げ水の様に形を変えて、何かを欠いたまま、
ふらふらと胸に決然と
「固定化された体」から逃れていく試み。

作・演出・振付・出演：目黒大路
テキスト・出演：佐々木治己
振付・出演：中西レモン
美術・衣装：大倉礼子

目黒 大路 / Daiji MEGURO

2001年、アズベストに入社。元飯塚子に師事。2002
年、元飯塚子・大野理人とのトリオ作品「大動」で注目
される。2003年～2010年、重伏源のユニットKod&Edge
Co.に立ち上げ時から参加し、世界14カ国、29都市で
作品を発表。平成22年度文化庁新進芸術家海外研修
派遣制度研修員。今一展、電線の特長について考え、
電線の身体の可能性を探り、そして提示することを
目指している。

